



平成29年度

第2回市町村議会議員特別セミナー

急速な少子高齢化により、日本の高齢化率は26.7%（平成27年10月現在）、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には30.3%になることが予想されています。（平成28年版高齢社会白書）

超高齢社会において、老いても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住民に一番近い存在である市町村には早急な取り組みが求められています。また、この超高齢社会を支えていく現在の子どもたちにより良い未来社会の創造を託すためにも、子ども期の貧困対策も大変重要な課題です。

今回のセミナーでは、世界に類を見ないスピードで進行する超高齢社会における喫緊の課題を取り上げ、今、市町村で何をしなければいけないのか、各分野でご活躍の著名な先生方よりご講演いただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

平成29年8月3日(木)

● 2025年に向けた医療介護総合確保政策

～地域包括ケアシステムと地域医療構想～

慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏

● 子どもの貧困対策 ～子どもの貧困の現実と対策～

法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠 氏

平成29年8月4日(金)

● 認知症対策

～団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて～

医療法人社団つくし会理事長 新田 國夫 氏

● 災害と福祉の連携 ～これまでの活動実践から～

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事

浦野 愛 氏

開催要領

日程

平成29年8月3日(木)～8月4日(金) (2日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 ※JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩3分

対象

市区町村議会議員の皆さま ※2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

200人

※募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページでお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

6,650円

※左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備、事前学習にかかる費用は含まれておりません。また、最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成29年6月21日(水)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

※「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

平成29年

8月

3日(木)

- 11:00～12:00 入寮受付・昼食
- 12:45～ 開講式・日程説明
- 13:00～14:30 **2025年に向けた医療介護総合確保政策
～地域包括ケアシステムと地域医療構想～**
慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏
- 14:50～16:20 **子どもの貧困対策 ～子どもの貧困の現実と対策～**
法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠 氏
- 17:15～ 交流会 とともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成29年

8月

4日(金)

- 9:00～10:30 **認知症対策
～団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて～**
医療法人社団つくし会理事長 新田 國夫 氏
- 10:50～12:20 **災害と福祉の連携 ～これまでの活動実践から～**
認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏
- 12:20～12:30 閉講・事務連絡

講師紹介

●慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏

1971年慶應義塾大学商学部卒業、1975年慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了。1977年ノースウエスタン大学経営大学院修士課程修了。1977年慶應義塾大学ビジネス・スクール助手、1981年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、1993年教授。2014年名誉教授就任後も新たに設けられたヘルスマネジメント・イノベーション寄附講座をベースに研究・教育を継続。現在務める主な公職は、日本ヘルスサポート学会理事長、日本介護経営学会会長、医療経済学会理事、日本ケアマネジメント学会理事、社会保障審議会介護給付費分科会長、同会福祉部会長、同会医療部会長代理、医療計画の見直し等に関する検討会座長代理、全国健康保険協会運営委員長など。

著書論文は、『地域包括ケア サクセスガイド：地域力を高めて高齢者の在宅生活を支える』（メディカ出版、2014年）、「介護イノベーション-介護ビジネスをつくる、つなげる、創造する-」（第一法規、2011年）等他多数。

●法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠 氏

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK第一ラジオ「マイあさラジオ」、文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」レギュラーコメンテーター、「ラジオフォーラム」レギュラーパーソナリティー、朝日新聞パブリックエディター、日本弁護士連合会市民会議委員。講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、人権問題などに渡る。

著書に「ヒーローを待っていても世界は変わらない」（朝日文庫）、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞を受賞した「反貧困」（岩波新書）、「貧困についてとことん考えてみた」（茂木健一郎氏と共著、NHK出版）など多数。Yahoo! ニュース個人の連載「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で「オーサーアワード2016」を受賞。また、法政大学「2016年度 学生が選ぶベストティーチャー賞」を受賞。

●医療法人社団つくし会理事長 新田 國夫 氏

1979年帝京大学医学部卒業後、同大学病院第一外科・救急救命センターに務める。1990年新田クリニックを開設し、在宅医療を開始。1992年医療法人社団つくし会を設立し、理事長に就任。医学博士、日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会専門医、日本医師会認定産業医。全国在宅療養支援診療所連絡会会長、日本臨床倫理学会理事長、福祉フォーラム・東北会長、福祉フォーラム・ジャパン副会長、日本在宅ケアアライアンス議長、医道審議会保健師助産師分科会看護師特定行為・研修部会員、全国在宅医療会議会長代行、厚生労働省老人保健健康推進事業地域包括ケア研究会委員、東京都在宅療養推進会議会長等多数の公職を務める。著書等多数。

●認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏

社会福祉士。同朋大学社会福祉学部卒業。在学中、阪神・淡路大震災で被災者支援にあたる。1999年より社会福祉法人特別養護老人ホーム愛生苑デイサービスセンター介護職員として勤務。2002年レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとして活動。2004年より事務局長、2009年より常務理事。災害時要援護者への支援事業を中心に活動を行っている。これまでの災害救援・復興活動支援は、阪神・淡路大震災の他、東海豪雨災害（2000年）、新潟・福島豪雨水害、新潟県中越地震（2004年）、能登半島地震、新潟県中越沖地震（2007年）、東日本大震災（2011年）、京都南部豪雨水害（2012年）等多数。内閣府「避難所における良好な生活環境の確保に関する検討会」委員、愛知県「災害時保健活動マニュアル検討委員会」委員等多数の公職を務める。

・ 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
・ 受講者による講義中の録音・写真撮影は固くお断りしております。・ 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は、所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。